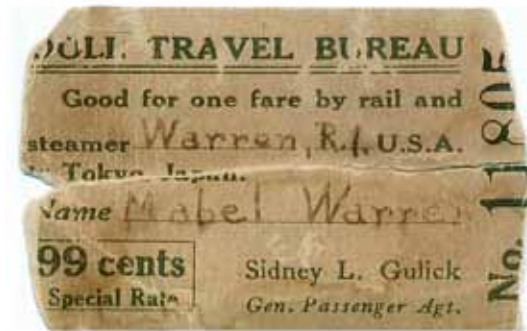


旧朝比奈小学校の青い目の人形



よみ	きゅうあさひなしょうがっこう のあおいめのにんぎょう
指定	市指定有形文化財
種別	歴史資料
所在地	御前崎市白羽
所有者	御前崎市教育委員会
指定日	平成20年12月19日



旅券

詳細情報

寸法・重量	身長 36.5cm	体重 730g
製作年代	19世紀初め頃	
服装 形状	白色のブラウスと青色のコート、コートと同じ布地での帽子、靴と靴下合成物で成型されたショルダーヘッドタイプ(頭部からか肩部が一続きになっている)で、手と足の部分も合成物で作られているが、胴部は綿パッキングの布ぐるみ。目を閉じる機能有り。	

解説

昭和2年(1927)にアメリカ合衆国の日米親善会から日本の幼稚園や小学校へ日米親善大使として贈られた人形の1体で、旧朝比奈村立朝比奈尋常高等小学校に贈られたものです。

当時、たくさんの人たちが日米の小旗をふり歓迎したが、昭和16年12月に太平洋戦争が勃発。しだいに戦争が激しくなってくると、一転して憎悪の対象となり、日本各地に送られた人形のほとんどが処分されました。朝比奈国民学校(昭和16年4月改称)でも、校長が用務員に人形を燃やすように指示しました。しかし用務員は、目のある物には命がある、燃やす事が出来ないと思い、やぎ小屋の中に隠しました。

戦後隠されていた人形の存在が明らかとなり、その後、旧朝比奈小学校(昭和22年4月改称)、浜岡北小学校(昭和52年4月朝比奈小学校と新野小学校の統合により開校)で大切に保管されてきました。現存している青い目の人形は全国で約250体。県内では数体しか現存していません。

